

平成26年度宮崎県特別支援教育研究連合知的障がい教育研究部会

－ 第1回理事会（総会）－

日時 平成26年6月13日（金）

10:00～

会場 みなみのかぜ支援学校

1 開会行事

(1) 会長あいさつ【副会長】

- ・今年度、県大会は開催されないが全国大会に向けて協力体制を持って取り組む。今回決まったことをこれまでより一歩進む形として考えていただきたい。

(2) 出席者自己紹介

(資料P1)

2 県特連 知的部会について【みなみのかぜ】

(資料P2, 3)

(1) 組織について

- ・知的部会とは？ 資料P2, 3 図参照

ブロック部会・・・地域での研究組織

障がい種別教育研究部会・・・障がい種別の研究組織

- ・宮崎県特別支援教育連合 知的障がい教育研究部会 細則について一部改正

第3条（研究大会）1・・・運営担当校は～・・・都城きりしま、日南くろしお、児湯るびなす
延岡しろやまの4校とし・・・構成するものとする。

☆都城きりしまに小林校も含む。

※資料P11 参照

- ・本日の出会者は全国大会にも携わる。

3 協議事項

(1) 平成25年度知的部会事業報告【みなみのかぜ】

(資料P4, 5)

- ・資料参照

(2) 平成25年度知的部会収支報告【みなみのかぜ】

(資料P6)

- ・研究大会運営費については大会実行委員校の都城きりしま支援学校で監査済み

(3) 平成26年度知的部会事業計画（案）【みなみのかぜ】

(資料P7, 8)

承認

(4) 平成26年度知的部会予算（案）【みなみのかぜ】

- ・変更点

前年度の繰越金が減った

研究大会運営費が減った（県の大会は全国大会と兼ねる）

承認

(5) 平成27年度研究大会について【都城きりしま】

- 今後の知的研究大会について（資料別紙・・・今後の知的部会の研究大会について）

整理すべき事項

- ・組織のシステム化を図る。
- ・H27年度知的部会研究大会へ向けて、研究大会当日までの、研究大会当日マニュアルを作成する。

協議 大会運営について

確認事項

○知的部会研究大会実行委員会組織運営について

(資料別紙・・・知的部会研究大会実行委員会組織運営について(案)・・・P1)

1 実行委員会編制

(1) 知的部会研究大会運営担当

※別紙参照

(2) 知的部会研究大会実行委員構成

- ・実行委員等に延岡しろやまを加えた。

※別紙参照

(3) 研究大会業務

- ・研究大会内業務 案内送付準備 児湯るびなす
- ・ローテーション業務内容確認

※別紙参照

【今後の研究大会業務の分担を行う理由】

- 1校に集中していた研究大会運営事務局の業務を分担させることで、1校の負担を解消する。平成25年度より

【知的部会研究大会運営事務局自体のローテーションを行う理由】

(資料別紙・・・知的部会研究大会実行委員会組織運営について(案)・・・P2)

承認事項

H27年4月1日付で、知的部会研究大会運営事務局を、都城きりしま支援学校から児湯るびなす支援学校へ移管する(2年間)

(資料別紙・・・知的部会研究大会実効委員会組織運営について(案)・・・P2～3)

○ 知的部会研究大会運営ローテーションの案について

- ・全国大会実施のH26年と九州大会実施のH30年については「みなみのかぜ」が運営する。

【児湯るびなす】

- ・確認として、校長会で話題となったそうだが内容が分かれば教えていただきたい。

【会長】

- ・きりしま支援だけに負担をかけていた。校長会で「各業務を持っていない4校でローテーションをしては」という部分までは話し合った。実施順や年数についてはこの場で決めてもよいのでは。
- ・引き継ぎの際は各学校で責任を持って行う必要がある。

【児湯るびなす】

- ・この会を支援学校、支援学級の先生方や子ども達に返していくという為に平成 27 年、28 年度は児湯るびなすで受ける。

【小・中特研】

- ・るびなす支援が受けるという点は確認されたが、他の部分での協議は？

【延岡しろやま】

- ・ブロック部会が実施されなくなった時もこのローテーションでいくのか？

【県大会実行委員長】

- ・このローテーションの意味は県特連のブロック大会との兼ね合いを考えての提案。

【小中特研事務局】

- ・以前、口蹄疫で実施ができなかったこともあるので、毎年確認していく形がよいのでは？

【進行】

- ・若干の不確定要素はあるが、概ねこの流れでいく。

【西臼杵】

- ・ブロック大会は前年度より準備をするので知的の県大会を抱えながらの次の準備をするというのは大丈夫か？

【児湯】

- ・ブロック大会については校内の体制的には大丈夫だと思う。

【副会長】

- ・他県で大会を実施する場合は小・中特研が中心に業務を行っている所もある。そのような事情をご理解いただき、将来的には小・中特研の先生方にも協力体制や今後の心づもりをお願いしたい。

【しろやま】

- ・引き継ぎに関しては誤解等生じないようにしっかり行っていけるとよい。
- ・昨年度の段階では校務が分担されていたが、今年度は校務の編制が変わった。
- ・2年ごとというのは 35 年度の時点で検討してはどうか？

【進行】

・ローテーションは 35 年度まで第 1 案で決定する。承認

1 大会へ向けての分担業務

1) H26 年度分担業務

- ・支援学校を中心に業務を行っていくが、小・中学校の先生方にも協力いただきたい。
※別紙参照

2) H27 年度の計画

※別紙参照

○ 平成 27 年度の計画について

2 研究大会予算について

1) H25年度知的部会研究大会収支決算書 資料P4

2) H26年度予算案 資料P5

- ・来年度研究大会はないが、H27年度の準備金として予算をたてた。

3 研究大会マニュアル 別紙B4資料

4 次回予告

- ・H27の研究大会内容については次回提案する。

(6) 知的障がい教育研究部会規則(案) 資料P11

- ・変更点

県特連知的障がい教育研究部会 細則(案)第3条(研究大会)

(7) 平成26(27→26訂正)年度以降の九州大会・全国大会提案者等について 資料P12

☆九州大会開催県のローテーション

- ・全国大会がいつあるのかで変更も生じる。

☆九州大会への小中学校からの提案参加ローテーション

- ・九州大会へ宮崎からの提案校()の部分変更あり。
- ・研究発表に関する地区については延岡・西臼杵に日向地区も加わる。

☆全国大会への提案県

☆ブロック部会の地区割

【小中特研事務局】

- ・作業・進路に関する部会の内容については中学校段階までの内容でよいのか?

【西臼杵】

- ・前回の大会では中学校が発表し、キャリアに関する内容であった。よって中学校段階での内容で発表できるのでは。

変更点については第2回の理事会で提示する。

4 連絡事項

(1) 負担金について 資料P13

- ・各支援学校の担当と小中特研の代表の先生方は文書を持ち帰って欲しい。
- ・振り込み手数料に関しては、負担していただきたい。
- ・第2回の理事会(7月31日)の時に直接持参でもよい。

(2) 第37回夏期セミナーの案内

5 閉会行事

(1) 会長あいさつ 【会長】

- ・メンバーも替わってきているが、今日の内容はこれまでの課題が一步進むと捉えて欲しい。新たな取り組みも提案されたが、また課題が出てきたらその都度話し合い各地区、各校に持ち帰り、今日の会の報告をして欲しい。

